

『北のクラフトフェア』を始めるにあたり



盛岡は長い歴史の中で暮らしに工芸が根付き、日々の営みの中で生活と工芸の繋がりを大切にしてきました。特に南部鉄瓶、ホームспан、漆、木工などは東北の自然と繋がりをもち今日へと続いています。この北の地、盛岡からこれからの物づくりを見つめ、日本、そして世界の工芸、クラフトと繋がり作り手と訪れる人々の暮らしを照らすようなクラフトフェアを開催し継続していきたいと思ひます。また音楽イベント、トークイベントなどを企画してつくり手と訪れる人、暮らす人との交流も深まるようなものになるよう育てていきたいと考えています。東北の美しい秋の風景と共に良い時間、良い出会いがありますよう皆様をお迎え致します。

## 北のクラフトフェア MORIOKA 2022 応募要項

### 応募条件：

- ・原則として個人の方（グループやサークルの参加は不可）
- ・本人が制作したオリジナル作品であること（仕入れ品や預かり品の出品は不可）
- ・会期中、屋外の会場で自らのブースを管理し、搬入、搬出を行うことが可能な方
- ・作品は展示販売のみで、受注販売ではないこと

出展料：※出展場所は事前にクジ引きで決定します。抽選の様子はインスタライブで配信予定

- ・選考料 2,000 円（返却はいたしません）  
※選考委員による総評をメールにてお送りいたします（個々の作品評ではありません）。
- ・出展料（二日間） 18,000 円

### 応募期間：

- ・web エントリー締め切り **2022 年 4 月 10 日 17:00**
- ・選考書類応募締め切り 同日当日消印有効

### 募集数：

クラフト部門／70ブース（1ブース3×3m程度の予定）

### 結果発表：

- ・2022 年 5 月上旬にメールにて通知します。※メールが無い方にはファクスまたは郵送いたします  
※パソコンからのメールが受信できる設定をお願いいたします。
- ・選考に通られた方は 5 月末日までに出展料をお振込ください。入金確認をもって出展確定となります。  
※出展キャンセルの場合も返金はできません。

応募方法：

- ① web エントリー ※できない場合はエントリー番号無しで③へ
- ② 自動返信にてエントリー番号が送られてくる
- ③ エントリー番号を記載して、選考料 2,000 円を振り込む (4/10 まで)
- ④ 応募書類と、振り込み控えのコピー (原本不可) を郵送 ※4/10 消印有効
- ⑤ 選考結果がメール (または fax) で送られてくる (5 月上旬)
- ⑥ エントリー番号を記載して、出展料 18,000 円を振り込む (5 月末まで)
- ⑥ 申し込み完了・出展の準備開始です！

◆まずは公式 web サイト (<http://kitanocraft.com>) よりエントリー

エントリーフォームを記入し送信すると、自動返信で受付番号が届きます (web 環境が無い方は郵送のみでも可ですが、情報の入力ミスを防ぐためできるだけ web エントリーをお願いいたします)

公式サイトはこちら▶



◆選考料 2000 円の振込み

郵便局の振込用紙 (払込取扱票) をお使いいただき、郵便振込によりお願いいたします (振込用紙記入例参照)。通信欄にはエントリー番号も記入してください (無い場合は未記入で)。振り込み名義は、必ず事務局連絡用の代表者名と同一名義としてください。

口座番号：00170-0-792874

口座名義：北のクラフトフェア実行委員会

また、郵便局以外の金融機関からお振込の場合は、下記によりお願いします。

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇一九 (ゼロイチキュウ) 店

預金種目・番号：当座 0792874

口座名義：北のクラフトフェア実行委員会

なお、ATM からお手続きの場合は、ご利用明細票のコピーをお送りください。インターネット振込の場合は、振込完了画面を A4 用紙にプリントアウトしてお送りください。

◆応募書類の送付

応募用紙をサイトよりダウンロードして印刷し、必要事項を記入の上、エントリー料の振り込み用紙控えのコピーと一緒に、事務局あて (送付先下記) にお送りください。送付には A4 サイズの応募用紙が折らずに入る角 2 型の封筒をお使いください。書類が届いた時点で申込み完了となります。

送付先／

〒020-0874 岩手県盛岡市南大通 1-1-17  
(株) クラシカウンシル内  
北のクラフトフェア事務局 宛

封筒に貼り付けてお使いください

# 記入例

払 込 取 扱 票											
00		口座記号				口座番号				金額	
00		01700				792874				千:百:十:万:千:百:十:円 ¥2000	
加入者名		北のクラフトフェア 実行委員会						料金		備考	
通 信 欄		エントリー料 または 出展料									
加入者名		北のクラフトフェア 実行委員会						金額		備考	
おところ		000-0000						千:百:十:万:千:百:十:円 ¥2000			
おなまえ		〇〇県〇〇市〇〇〇〇						* 〇〇県 〇〇市 〇〇〇〇		* 北野倉太 No.1 様	
おなまえ		北野倉太 No.1						日 附 印		日 附 印	
おなまえ		090-000-0000						料金		備考	
おなまえ		(ご連絡先電話番号)						円			

各票の※印欄は、ご依頼人様において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)  
これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。  
切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

エントリーの名義と同じ名前

エントリーナンバー  
(無い方は未記入でOK)

振り込み後、手元に残る控えを  
A4用紙にコピーして、  
応募用紙と一緒に送る  
(振り込み手数料はご負担ください)

## ◆注意事項

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手指消毒、体温測定を受付で行いますので、ご協力ください。また、開催前日に体調の変化があった場合は事務局までお知らせください。
- ・応募キャンセルの場合はエントリー料金、出展料金ともに返金できませんのでご注意ください。
- ・雨天決行ですが、暴風や雷など危険を伴う状況と判断した場合、当日中止となる事もあります。その場合も返金はいたしかねますのでご了承ください。
- ・会場には宅配便取り扱い窓口はございません。
- ・テントの貸し出しはございません。出展ブースの備品なども各自でご用意ください。
- ・出展ブースは、出展者が責任をもって管理してください。
- ・岩手公園には駐車場がございませんので、荷下ろしを行った後は近隣のコインパーキングへご移動願います  
(オレンジパーキング/最大料金 入庫後 12 時間迄 ¥550 などがございます)
- ・8 日朝は混雑が予想されますので、荷下ろし時間を割り振ります。出展場所が決定した後に個別にご連絡いたします。なるべく出展場所の近くへ横付けできるようにしたいとは思いますが、車の大きさ等によっては河川敷に駐車し、搬入いただく場合もあります。
- ・公園内で火器の使用は禁止です。
- ・公園内は全域で禁煙となっております。また、河川敷などでもご遠慮ください。

その他、ご不明点などございましたらメールにてお問い合わせくださいませ。 [info@kitanocraft.com](mailto:info@kitanocraft.com)

# 北のクラフトフェア MORIOKA 2022 について

会場：岩手公園（盛岡城跡公園）芝生広場

岩手県盛岡市内丸1番37号/JR盛岡駅より、徒歩15分

江戸時代、南部藩の城下町として栄えた南部盛岡の不来方城を公園として今に至っています。関東以北の石垣組の平城としては、最大の規模を誇り、公園の中には、石川啄木がよんだ「不来方（こずかた）のお城の草に寝ころびて 空に吸はれし 十五の心」の歌碑があります。クラフトフェア会場の芝生広場には、ミナペルホネンのデザイナー・皆川明氏が中心となり、Park-PFIによる公園活性化施設を建設予定です。



もりおか歴史文化館



地下駐車場入口



## タイムスケジュール：

8日（土）

7:00 搬入開始

10:00 開場

16:00 終了

9日（日）

9:00 開場

16:00 閉場／撤収開始

18:00 撤収完了

10日（月） トークなど、時間未定

※搬入路、タイムスケジュールは変更になる場合があります。

最新情報は公式サイトをご覧ください

<https://kitanocraft.com>

主催：北のクラフトフェア 実行委員会

木村敦子・水野ひろ子（クラシカ）、加賀谷真二・加賀谷奈穂美（carta）、岩井沢由美子

協力：安部智穂（craft 市 in 小岩井 主催）

後援：盛岡市、(株)ミナ、manorda いわて(株)、盛岡市肴町商店街振興組合 ほか

## 皆川 明

デザイナー。1995年にブランド minä perhonen (2003 年までは minä) 設立。手作業で描かれた図案から作るオリジナルファブリックによるファッション、インテリア等で注目を集める。ストーリー性のあるデザインと、産地ごとの作り手の個性を活かした、長く愛用されるものづくりを目指す姿勢はブランド設立時から一貫している。個人の活動として、国内外の様々なブランドとデザインを通じての協業を精力的に続ける他、新聞や書籍への挿画、宿のディレクションなど活動は多岐にわたる。



photo/Shoji Onuma

## 三谷 龍二

木工デザイナー。陶磁器のような普段使いの木の器を作り、それまで家具中心だった木工に、新たな分野を開く。また、漆では、赤と黒の伝統色に「白漆」を加え、現代の暮らしに合う漆器の世界を作る。他に、日常から拾い上げた親密性の高い絵画や立体作品も制作する。木の器展多数。1985 年より「クラフトフェアまつもと」(松本市) 発足より運営に参加。「瀬戸内生活工芸祭」「六九クラフトストリート」など、「工芸と暮らしを結ぶ」活動を続ける。2011 年 松本市内にギャラリー 10cm を開店。



photo/Hua Wang

## 日野 明子

ひとり問屋。1967 年神奈川県生まれ。共立女子大学家政学部生活美術学科在学中に教授であった秋岡芳夫氏の影響を受ける。松屋商事(株)(百貨店松屋子会社・1998 年に解散)にて北欧テーブルウェアおよび国内クラフト/工芸品の営業を経て、1999 年独立、スタジオ木瓜を設立。一人で問屋業を始める。ショップと作家・産地をつなぐ問屋業を中心に、テーブルウェアを主体とした生活に関わる日本の手仕事・地場産業の展示会や企画協力、アドバイスを行う。



## ナガオカケンメイ

デザイン活動家。1965 年北海道生まれ愛知県育ち。ロングライフデザインをテーマに「長く続いている大切なこと」を「デザイン」を通じて紹介、販売する店である「D&DEPARTMENT PROJECT」を 2000 年に創設。現在は国内 8 カ所、国外 3 カ所に展開。2009 年デザイン目線の旅行文化誌『d design travel』発行。2012 年より日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」館長。2013 年毎日デザイン賞受賞。  
[www.nagaokakenmei.com](http://www.nagaokakenmei.com)



## F/style 五十嵐恵美・星野若菜

五十嵐恵美 1978 年、星野若菜 1979 年、ともに新潟生まれ。東北芸術工科大学を卒業した 2001 年春、地元新潟にて「エフスタイル」を開業。「製造以外で商品が流通するまでに必要なことはすべてやってみることを」モットーに、デザイン提案から販路の開拓まで一貫して請け負う。主な仕事は、山形の月山織通とのコラボレートによるマツトシリーズや、新潟の伝統工芸品シナ織りのバッグ等。伝統産業と「今」を結び、使い手へと商品を届けている。



Photo/Kentaro Kase

## 光原社 代表・川島富三雄

宮沢賢治の代表作『注文の多い料理店』を出版し、のちに民藝店となり歴史を重ねてきた「光原社」の初代店主・及川四郎の孫として盛岡市材木町に生まれる。東京造形大学で学び、呉服店での修行を経て仙台市にて「光原社せんだーど」を立ち上げ、2021 年より株式会社光原社の代表取締役を務める。柚木沙弥郎を始めとする作家との信頼関係も厚く、全国の民藝店を牽引する存在となっている。

